



皆さまには日頃より、私の活動に対し深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。今、市議会においてもコロナ禍の中、市民の命と健康を守る為、全力を注ぎ市政に取り組んでおります。今後とも、力いっぱい活動して参りますので、皆さまの温かいご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

身近な市政情報

1 精神障害者保険福祉手帳をお持ちの方への割引拡充が行われます

この度、国や県バス協会より精神障害者についても身体障害者等を対象として実施している各種運賃割引の対象とすることを検討するよう通知があり、これまで一部導入を開始していた精神障害者保険福祉手帳をお持ちの方への運賃割引についても、内容を拡充することになります。

○拡充内容

	現行	拡充後
対象者	県又は本市が発行した手帳交付を受けた者	左記以外の手帳交付を受けている者も対象とする
介護人割引	対象外	対象となる
定期券割引	対象外	対象となる

○実施予定日

令和3年4月1日より

○運賃割引内容

	運賃の種別	本人	介護人・付添人
市バス	普通旅客	50%引	50%引
	定期旅客	30%引(大人のみ)	30%引(大人のみ)
地下鉄	普通旅客	50%引	50%引
	定期旅客	23.1%引(大人のみ)	23.1%引(大人のみ)

2 障害者福祉センター事業の見直しが行われます

近年の障害福祉サービス指定事業所の増加や障害者の対象範囲の拡大、多様な状況の変化を踏まえ、センターが担うべき機能について、検討してまいりました。

○センターの概要

- 市内4区(泉区、太白区、宮城野区、若林区)に設置
- これまで、機能訓練の対象は身体障害者、生活訓練及び生活介護の対象は知的障害者と定め、実施してきました。
- 地域交流推進のための各種講座の実施や貸館を指定管理で運営し、自立訓練(機能訓練)、(生活訓練)等の各事業を業務委託により実施している。

○障害福祉サービス指定事業所数

	平成18年10月	令和2年10月
自立訓練(機能訓練)	3カ所	7カ所
自立訓練(生活訓練)	2カ所	20カ所
生活介護	16カ所	71カ所

○今後の方向性について

より個別的な支援を必要とする高次脳機能障害者や発達障害者のための機能訓練、生活訓練や一般事業所では受け入れの難しい医療的ケア等のための生活介護を実施するなど、今後、先導的な取り組みや既存の制度、サービスでは対応しきれないニーズに応じる役割を担っていく。

○今後のスケジュール

令和3年4月 事業委託者と意見交換、利用者への説明
 令和3年4月 既存センターの利用対象拡大

3 2021年度仙台七夕まつり開催に向けた方向性が示されました

仙台七夕まつりの感染予防対策が固まり、開催に向けて、準備を整えていくことになりました。今後の感染状況を踏まえながら、開催内容を判断していくこととなります。

○実施期間 2021年8月6日(金)～8月8日(日)

○主な感染症対策

- 感染レベルのステージに応じて、開催に向けて、開催内容を判定
- 七夕飾りの高さ統一として、地下高を従来の1.6mから2mに引き上げ、七夕飾りに接触しないように配慮
- 店頭での食用販売について、テイクアウト出来る食料のみとし、食べ歩く可能性の物は販売不可
- ふたやキャップの付いている飲物以外は販売不可
- 市民広場での「おまつり広場」等のイベントは中止
- 中心部商店会の数ヶ所に、手指消毒や体温測定を行う「感染症対策ステーション」を設置

※今後のスケジュールとして、2021年7月上旬頃を目途に感染状況を踏まえて、開催内容(中止を含む)を判定する

橋本けいいちプロフィール

- 仙台市議会 会派 自由民主党 会長
- 仙台市議会 歴史まちづくり調査特別委員会 委員
- 仙台市介護保険審議会 委員
- 仙台市廃棄物対策審議会 委員
- 仙台市薬剤師会 顧問
- 仙台市早起き野球協会 顧問

- 仙台市議会 市民教育常任委員会 委員
- 仙台市国民健康保険運営協議会 副会長
- 仙台市地域包括支援センター運営委員会 委員
- 仙台市食品衛生協会 顧問
- 宮城県トライアスロン協会 顧問

昭和41年仙台市泉区生まれ/宮城県仙台第三高等学校卒/東北学院大学法学部卒

令和3年 第一回定例会代表質疑(内容を要約しています)

橋本の質疑 施政方針に込めた郡市長の思いについて

答弁 新年度はワクチン接種の円滑化など、コロナ対応を最優先課題と位置づけ、この苦難を乗り越えたい。震災から10年を経た今、杜の都の風土が息づく都心づくりや多彩な経済、交流活動の創出など、都市間競争に打ち勝つための未来に向けた投資を行う時期にある。社会変化への対応力を高めるデジタル化の推進、都心の賑わい創出や青葉山地区の魅力向上、産学官金が一体となった起業家を育む環境づくりなど、未来への布石といった観点から予算編成に取組みました。

橋本の質疑 新型コロナ感染症対策に関する時短要請の総括について

答弁 営業時間の短縮要請は、新規感染者の急増などを踏まえ、医療崩壊を招かぬための必要な措置であります。2月に入り、一日の新規感染者数が減少するなど、市民の意識や対策も相まって、その効果が現れてきたと考えます。今後、これらの効果を持続させるため、予防対策の徹底を引き続き呼びかけ、協力金の速やかな支給、関連事業者への支援にも努めてまいります。

橋本の質疑 時短要請の今後の対応について

答弁 今回の要請に対し、国分町2丁目及び一番町4丁目エリアの6割以上の飲食店にご協力をいただいた。一方、1店舗あたりの協力金が一律であったことなどから、規模の大きい店舗は協力が難しいとのことだった。対象区域外の事業者や取引事業者などへの影響が出ており、拡大抑止効果はあったものの、地域経済への影響も大きいものだった。協力金の上限額の引き上げや、規模に応じた支援策、一律給付の見直しなど、給付金の更なる充実について、国へ要請した。

橋本の質疑 ワクチン接種の準備状況について

答弁 4月以降とされる高齢者向けの接種開始に向け、3月下旬には、接種券を発送する想定をしている。3月中旬には、コールセンターを立ち上げ、体制を整えたい。又、接種の進捗管理のためのシステム開発など対応をするとともに、接種会場や予約方法について、市医師会等との協議を図り、国に対し、子供や妊婦などの対象者の範囲、副反応のリスク等の情報提供を求め、適切な周知を行いたい。

橋本の質疑 接種体制の在り方について

答弁 施設の嘱託医による施設内での接種、在宅で療養されている方への訪問診療接種など、個別の対応での検討を進めている。施設従事者への接種についても、入所者に対して、併せて実施していきたい。

橋本の質疑 接種体制の在り方について

答弁 4月以降開始が予定されている高齢者接種について、1日あたり最大約8000人への接種可能な体制が必要となる。個別接種については、およそ400カ所の診療所からご協力いただける見込みと伺っている。

橋本の質疑 経済対策第6弾について

答弁 時短要請により、多方面に深刻な影響が出ている。売上減少の事業者を対象とした、時短要請等関連事業者支援金の拡充や割増食品券の対象地域拡大について追加提案を行った。支援金について、給付金や保証料補給を通じた資金繰りや、事業継続支援等に取組んでいきたい。更に、

割増商品券の発行支援など、需要喚起に向けた施策も考えている。

橋本の質疑 今後の経済施策の方向性について

答弁 本市経済の持続的発展には、企業等の事業の再構築やイノベーションを推進していくことが不可欠である。本市「経済成長戦略2023」に掲げる7つの重点プロジェクトに加え、2つの感染症プロジェクトを追加した。投資や地域企業のデジタル化の取組み支援を通じ、意欲ある企業の成長の後押しするとともに、生産性と付加価値を高めたビジネスモデルの変革を推進し、地域経済全体の活性化につなげたい。

橋本の質疑 交流人口回復への戦略について

答弁 新年度において、引き続き宿泊促進キャンペーンを実施するほか、デジタルマーケティングを導入し、コロナ禍による旅行者の動向に対応し、きめ細かいプロモーションを実施したい。又、屋外プログラムの充実やオンライン観光に取り組みるとともに、旅行先として選ばれるよう、コンテンツの開発や情報発信を進めていきたい。

橋本の質疑 新年度の組織改正について

答弁 危機に即応できる指揮監督機能や全庁横断的な調整機能の更なる強化を図るため、危機管理局を設置することとした。感染症対応を担う、健康福祉局について、保健所のマネジメント機能を強化し、的確な業務執行体制とする為、感染症対策室を新設する。

橋本の質疑 デイタイム救急隊の配置場所及び運用効果について

答弁 デイタイム救急隊は、高齢化の進展による、アフターコロナを見据えた救急需要の増大にスピード感を持って対応するため、令和4年度当初の運用開始を目指している。市内中心部をカバーできることから、青葉消防署の配置を考えている。効果については、日中時間帯の救急体制強化と合わせ、市内中心部の救急車現場到着時間の短縮による救命効果の向上を見込んでいる。日中勤務による、育児や介護でこれまで当直勤務ができなかった隊員の多様な働き方を後押しする効果も想定している。

橋本の質疑 小松島出張所の改修を救急隊配備の時期について

答弁 出張所は、コミュニティセンターとの複合施設であり、別棟で改築する案で検討を進めている。技術的な検証を行い、建物の耐用年数も踏まえ、救急隊を配備し、令和9年度頃を予定している。

橋本の質疑 震災10年の復興の取り組みの総括を課題について

答弁 持続可能なまちづくりに向け、様々な施策の展開に防災の観点を織り込み、先の未来を見据え、復興の視点を持ち、都市基盤の整備を産業集積の推進に取組んできた。又、雇用や地域活力の創出に寄与し、被災地の復興に一定の役割を果たすことができたと考えている。今後、心のケアや地域コミュニティへの支援といった心の復興に取組んでまいりたい。更に、仙台防災枠組の採択都市をして、災害に強いまちづくりや、地域を支えるひとづくりを推進したい。

橋本の質疑 中心部震災メモリアル拠点について

答弁 メモリアル拠点は東日本大震災の経験と教訓の検証・発信の拠点として、将来に向け、次の世代への世界の防災、減災に貢献する重要な役割を担うものです。新型コロナ

な感染症による厳しい経済、財政状況と踏まえ、拠点運営や整備手法について検討したい。

橋本の質疑 基本計画の確実な実行について

答弁 多様な主体との協働と挑戦を続けながら、都市個性を掛け合わせていくまちづくり掲げた。着実な推進に向け、地域の方々との課題解決に向けた仕組みづくりと、若者や企業、大学などといった担い手のすそ野を広げ、多様なチャレンジを生み出したい。財源確保については、事務事業の見直しを徹底するなど、更なる行財政改革や国の財源の積極的活用、歳入の多様化に取組みたい。

橋本の質疑 まちづくりに関して、県民会館跡地への立地について

答弁 音楽ホールは、楽都を標榜する本市が音楽文化を発展させる文化芸術の拠点として、又、新たな魅力をもたらす施設として進めていく必要がある。「勾当台、定禅寺通りエリアビジョン」の策定作業中、県民会館移転後の土地利用について、主体的に検討することを知事に伝え、ともに検討を進めることとした。音楽ホールの立地場所の絞り込みについて、熟慮を重ねている。目指す音楽ホールのあり方とエリアビジョンによる活性化策の両面から見極め、場所の決定と基本構想に着手したい。

橋本の質疑 市内音楽ホールの全体的なあり方について

答弁 老朽化により、更新が難しい市民会館や戦災復興記念館のホール機能について、音楽ホールを含む市内ホール施設で代替が可能であることが確認された。ホールの基本構想への着手について、文化芸術復興の拠点となる音楽ホール整備を目指す方針に変わりなく検討を進めていく。

橋本の質疑 都心の地域別構想について

答弁 都心は国際競争力を有し、経済活力が生みだされ、エリアごとの魅力や価値が高まることで回遊性が向上し、新たな賑わいや交流が生まれると考える。本市の個性や強みが掛け合わせられ、誰もが心地よく、訪れたいような将来像を描いていきたい。

橋本の質疑 青葉山公園の整備について

答弁 青葉山周辺エリアは歴史、文化、自然、博物館、東北大学など本市を代表する多くの施設が集積する重要なエリアである。工夫を凝らした映像等による展示や体験を通じて、多彩な魅力を感じていただけるよう整備を進めている。又、周辺施設との連携や民間事業者等のノウハウを生かした公園運営によりエリアの周遊性を高め、魅力や価値の向上に繋がるよう進めている。

橋本の質疑 全国都市緑化フェア開催について

答弁 市民とともに進めてきた「百年の杜づくり」を次世代へとつなげ、グリーンインフラなどの新たな取組みを押し進める好機です。震災後、東北初のフェア開催となることをふまえ、震災で失われた東部沿岸のみどりの復興についても発信したい。

橋本の質疑 大手門復元の調査及び期間について

答弁 復元は江戸時代を想定しており、文化庁から承認を得るためには、大手門の歴史的変遷を含めた学術的調査が必要であります。地下構造物の発掘調査解明と江戸時代の建造物の時代考証を行い、復元整備内容をまとめ、基礎調査と本格的調査に10年程度要するものです。

橋本の質疑 教育施策のいじめ防止対策について

答弁 いじめ対策担当部署を設置し、いじめ防止条例の制

定、相談支援を行うS-KETの開設、いじめ対策担当教諭やスクールカウンセラーの配備拡充を進めてきた。教育委員会においても、経験年数に応じた実践的研修の実施などにより、いじめの早期発見、迅速な対応につなげてきた。

橋本の質疑 不登校対策について

答弁 これまで適応指導センターによる不登校児童生徒への適応指導事業やスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等による相談支援体制を充実させ、今年度から、別室に専任教諭を配置する。「ステーション」の取組を開始した。今後も、不登校に係る相談機能の強化など、自立的に生きる基礎を養うための取組を進める。

橋本の質疑 35人以下学級の効果と拡充の理由、今後の計画について

答弁 教育課題が多様化、複雑化する中で、教員が一人ひとりに向き合い、細かく対応できる環境を整えることは不可欠である。中学校の調査では、生徒と向き合う時間の増加や学級内での生徒の活躍の場が多くなったこと、丁寧な指導ができるといった効果が示された。子供の自己肯定感や自己有用感の醸成につながっている。現在35人以下学級である、本市小学2年生が3年生になっても同規模とすることが望ましく、実施することとした。こういったことから、新年度は少人数指導や、チームティーチングに充てる教員を配置替えし、小学3年生に35人以下学級を拡大したい。令和4年度以降についても、必要な教員数を確保し、多目的教室の普通教室へ転用を行い計画的に進めたい。

橋本の質疑 今後の財政運営と市役所経営について

答弁 新型コロナウイルスの影響による市税収入の減少や財政需要の増加に加え、社会保障費関係費の増大により、令和4年度からの3年間で1000億円を超える収支差が見込まれ、本市の財政運営は予断を許さないものとする。減収が見込まれる法人市民税や固定資産税などの市税収入の回復を図ることが重要である。新たな仙台市役所経営プランの策定を通じ、事務事業の見直しの徹底や財源の創出など歳入、歳出両面におけるあらゆる取組みを進め、将来にわたり、中長期的な財政運営の視点も持ち、財政基盤の構築につなげる。

橋本の質疑 行財政改革への取組みについて

答弁 仙台市財政推進本部会議において、各局区への現行経営プランの実施項目を精査し、取組みの充実や加速などの見直しを進め、新年度から着手することとした。新年度に予定する次期プランの策定を通じ、公共施設のあり方や運営体制の見直し、持続可能なサービス提供に向けた受益と負担の適正化など歳出削減につながる事務事業の見直しの徹底を進める。

橋本の質疑 市役所のデジタル化計画の検討状況と方向性について

答弁 時代の変化に的確に対応するため、DX推進計画策定に向けた有識者懇談会において、市役所業務の効率化、ビッグデータの活用、デジタル技術を活かした地域課題解決や経済活性化などに取組み、住みよさを実感できるスマートシティを目指す方向性を示し、議論しているところである。

橋本の質疑 子育て支援における支援対象児童等見守り強化について

答弁 こどもの見守りがより一層厳しくなる夏休みなど、長期休業期間中に、虐待リスクなどの課題を抱えて継続的支援が必要と把握している家庭を中心に、おおむね週に1

度訪問し、食品の提供とともに、生活相談等を行うものです。実施にあたり、市域全体を2つのエリアに分け、公募によりNPO等の2団体に委託し個別に案内を行うなど、約200世帯を募り支援していくことを想定している。

橋本の質疑 高齢者施策として介護サービスの継続支援について

答弁 令和3年度からの介護報酬改定において、新型コロナに対応するための特例的な改定率の上乗せや通所系サービスでの一定程度利用者減少の場合の加算措置の新設も予定されている。引き続き、事業者の声も伺い、サービス利用動向に努め、検討を行う。

橋本の質疑 高齢者の就業機会開拓に向けた取組みについて

答弁 仙台市生涯現役推進協議会を通じ、相談窓口の設置や事業者訪問による雇用先の開拓などに取り組んできた。今後さらに幅広く情報提供していきたい。また、協議会において、就業を希望する高齢者に対し、これまでの経験や能力に応じた求人情報の紹介や応募に向けた助言を行うとともに、加盟する地元経済団体を通じ、就労に結びついた具体的事例紹介や高齢者雇用のメリットの説明を行い、

企業側のニーズも伺い、連絡を図り、取り組む。

橋本の質疑 市長の公約達成状況や自己評価について

答弁 特にこの1年は、新型コロナウイルス感染症への対応に最優先で取組みながら仙台の未来に向けたまちづくりの公約実現に向けて、力を注いできた。待期児童の解消など公約達成に至っていないものもあるが、いじめ防止条例の制定、35人以下学級の拡充、切れ目のない子育て支援など人を育む施策に一定の手応えを感じている。更に、中小企業活性化会議において、経済成長戦略を取りまとめ、又都心再構築プロジェクトを進めるなど、経済政策に取り組んできた。引き続き、市民の安全安心な暮らしを守る取組みに全力を挙げるとともに、「新たな杜の都」の挑戦に向け、円滑なスタートを切っていきたい。

質問内容と答弁の詳細については、[仙台市議会のホームページ](#)からもご覧いただけます。

仙台市議会ホームページアドレス
<http://www.gikai.city.sendai.jp>

令和3年度泉区内の主要事業(概要)

<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設総合マネジメントプラン推進 <ul style="list-style-type: none"> 将監地域複合施設建設 995,802千円 泉区役所建替事業 23,694千円 ・道路施設等長寿命化修繕 <ul style="list-style-type: none"> 泉中央駅ペDESTリアンデッキ補修工事 136,000千円 ・学校教育施設整備 <ul style="list-style-type: none"> 黒松小学校 校舎増改築設計 23,642千円 七北田中学校 校舎増改築等 338,556千円 ・地域づくりパートナーシップ推進 <ul style="list-style-type: none"> 泉区西部活性化 4,150千円 泉中央地区活性化 1,500千円 ・市民センター整備 <ul style="list-style-type: none"> 南中山市民センター大規模修繕 34,264千円 高森市民センター大規模修繕設計 14,440千円 ・墓園整備 <ul style="list-style-type: none"> いずみ墓園整備 648,782千円 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティセンター整備 <ul style="list-style-type: none"> 虹の丘コミセン大規模修繕 86,215千円 鶴が丘コミセン大規模修繕設計 7,788千円 住吉台コミセン大規模修繕設計 7,344千円 ・地域生活関連整備 <ul style="list-style-type: none"> 道路、公園、街灯の緊急修繕 25,952千円 ・道路新設改良 <ul style="list-style-type: none"> 桂島上野線(測溝整備) 16,000千円 泉塩釜線(交通安全施設整備) 391,500千円 長命ヶ丘幹線3号線(歩道整備) 32,000千円 加茂幹線1号線(歩道整備) 28,000千円 ・公園整備 <ul style="list-style-type: none"> 七北田公園(トイレ改修) 35,750千円 長命ヶ丘公園(トイレ改修) 6,400千円 ・集会所建設補助 <ul style="list-style-type: none"> 松森台集会所、七北田集会所、桂二丁目集会所、高森七丁目集会所他 21,706千円
---	---

活動レポート



2021年1月
昭和27年に開設され、平成21年に宮城県から仙台市に譲渡を受けた「仙台市陸上競技場」を視察調査しました。建築から30数年が経過しておりますが、老朽化が進んでいる中で、新築も視野に入れた競技者目線での対応をしっかりと行って参ります。



2021年2月
新型コロナウイルス対策への早急な対応が求められる中で地震が発生しました。日頃からの覚悟と備えの重要性を再認識したはずですが、市議会の本会議場も一部被害を受けた為、議場を特別委員会室に移し、議会が開かれました。あらゆる状況を想定し、議会も対応してきます。



2021年3月
休日の夜に発生した地震への対応のため、急きょ深夜に開かれた市議会対策の会議です。大きな被害は、報告されなかったものの、いついかなる時も迅速な行動が求められます。コロナ禍の急速な拡大の中にあっても油断することなく行動して参ります。



2021年3月
宮城県と仙台市独自の「緊急事態宣言」が発生されました。又、大きな影響を受ける飲食業をはじめとする関連事業者への協力要請と支援について、都市長から、各政党会派代表者への説明が行われた。市民の声をしっかりと聞き、そして迅速な対応と情報発信を行うこと。これが私達議員の大きな役割です。

皆様のご意見ご要望等どしどしお聞かせ下さい。お待ちしております。

TEL090-1063-8833 FAX(022)376-5232 Eメール: hashihashi@nekketsu.net

仙台市議会議員(泉区選出)5期

橋本けいいち 熱血通信

市政活動報告[令和2年度 後期版]

〒981-3213
仙台市泉区南中山3丁目16-19
TEL.090-1063-8833
FAX(022)376-5232
Email: hashihashi@nekketsu.net



皆さまには日頃より、私の活動に対し深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。今、市議会においてもコロナ禍の中、市民の命と健康を守る為、全力を注ぎ市政に取り組んでおります。今後とも、力いっぱい活動して参りますので、皆さまの温かいご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

身近な市政情報

1 精神障害者保険福祉手帳をお の割引拡充が行われます

この度、国や県バス協会より精神障害者身体障害者等を対象として実施しているの対象とすることを検討するよう通知が一部導入を開始していた精神障害者保険福祉手帳をお持ちの方への運賃割引についても、内容を拡充することになります。

○拡充内容

	現行	拡充後
対象者	県又は本市が発行した手帳交付を受けた者	左記以外の手帳交付を受けている者も対象とする
介護人割引	対象外	対象となる
定期券割引	対象外	対象となる

○実施予定日

令和3年4月1日より

○運賃割引内容

	運賃の種類	本人	介護人・付添人
市バス	普通旅客	50%引	50%引
	定期旅客	30%引(大人のみ)	30%引(大人のみ)
地下鉄	普通旅客	50%引	50%引
	定期旅客	23.1%引(大人のみ)	23.1%引(大人のみ)

2 障害者福祉センター事業の見直しが行なわれます

近年の障害福祉サービス指定事業所の増加や障害者の対象範囲の拡大、多様化など状況の変化を踏まえ、センターが担うべき機能について、検討してまいりました。

○センターの概要

- 市内4区(泉区、太白区、宮城野区、若林区)に設置
- これまで、機能訓練の対象は身体障害者、生活訓練及び生活介護の対象は知的障害者と定め、実施してきました。
- 地域交流推進のための各種講座の実施や貸館を指定管理で運営し、自立訓練(機能訓練)、(生活訓練)等の各事業を業務委託により実施している。

指定事業所数

	平成18年10月	令和2年10月
3カ所	7カ所	
2カ所	20カ所	
16カ所	71カ所	

について

より個別的な支援を必要とする高次脳機能障害者や発達障害者のための機能訓練、生活訓練や一般事業所では受け入れの難しい医療的ケア等のための生活介護を実施するなど、今後、先導的な取り組みや既存の制度、サービスでは対応しきれないニーズに応じる役割を担っていく。

○今後のスケジュール

- 令和3年4月 事業委託者と意見交換、利用者への説明
- 令和3年4月 既存センターの利用対象拡大

3 2021年度仙台七夕まつり開催に向けた方向性が示されました

仙台七夕まつりの感染予防対策が固まり、開催に向けて、準備を整えていくことになりました。今後の感染状況を踏まえながら、開催内容を判断していくこととなります。

○実施期間 2021年8月6日(金)～8月8日(日)

○主な感染症対策

- 感染レベルのステージに応じて、開催に向けて、開催内容を判定
- 七夕飾りの高さ統一として、地下高を従来の1.6mから2mに引き上げ、七夕飾りに接触しないように配慮
- 店頭での食用販売について、テイクアウト出来る食料のみとし、食べ歩き可能性の物は販売不可
- ふたやキリなど付いている飲物以外は販売不可
- 市民広場、若林区市民広場等のイベントは中止
- 中心部商店街などで消毒液や体温測定を行う「感染症対策」を実施

※今後のスケジュールは、7月上旬を目途に感染状況を踏まえ、開催内容を判断する

橋本けいいちプロフィール

- 仙台市議会 会派 自由民主党 会長
- 仙台市議会 歴史まちづくり調査特別委員会 委員
- 仙台市介護保険審議会 委員
- 仙台市廃棄物対策審議会 委員
- 仙台市薬剤師会 顧問
- 仙台市早起き野球協会 顧問

- 仙台市議会 市民教育常任委員会 委員
- 仙台市国民健康保険運営協議会 副会長
- 仙台市地域包括支援センター運営委員会 委員
- 仙台市食品衛生協会 顧問
- 宮城県トライアスロン協会 顧問

昭和41年仙台市泉区生まれ/宮城県仙台第三高等学校卒/東北学院大学法学部卒

仙台市議会議員
橋本けいいち
市政活動報告